

第4号様式（第8条関係）

議 事 録

会議名	令和元年度第2回さむかわ男女共同参画プラン推進協議会		
開催日時	令和元年9月18日（水）午前10時00分～午前11時30分		
開催場所	寒川町役場東分庁舎2階第1会議室		
出席者名、欠席者名及び傍聴者数	<p>&lt;推進協議会&gt;  出席委員：木村会長、橋本副会長、奥委員、吉野委員、町田委員  村田委員、落合委員、曾我委員、武藤委員、小山委員  欠席委員：大関委員  &lt;事務局&gt;中島町民部長、池田協働文化推進課長、山本協働文化推進課主査、奥谷協働文化推進課主査  &lt;傍聴者&gt; 2名</p>		
議 題	1 第4次さむかわ男女共同参画プラン平成30年度事業実績の評価について		
決定事項	○今回の会議録承認委員に橋本委員、吉野委員を指名		
公開又は非公開の別	公 開	非公開の場合その理由（一部非公開の場合を含む）	
議事の経過	<p>1 開会  協働文化推進課長</p> <p><b>木村会長</b> 議題（1）「第4次さむかわ男女共同参画プラン」平成30年度事業実績評価（案）について、説明をお願いいたします。</p> <p><b>山本主査</b> 議題（1）第4次さむかわ男女共同参画プラン平成30年度事業実績評価報告（案）資料1を説明。各事業に対するご意見は、2ページ目以降の推進協議会の事業別意見に記載。各基本目標ごとに提出いただいた総評は、7ページ目の基本目標Ⅰ推進協議会評価（個別）に記載。基本目標ごとの総評については、推進協議会の評価として取りまとめ、報告書として公表します。本日は各委員の意見から共通した部分を取りまとめ総評の事務局案として作成したものについてご意見いただき、最終的に基本目標ごとの総評のまとめをお願いします。</p> <p>また、事業別意見を全て掲載しておりますが、まとめたほうがよい項目等がございましたら、ある程度まとめてさせていただきますので、よろしくをお願いいたします。ご自分の意見等も踏まえ、さまざまな視点からご協議いただき、評価をまとめていただきたいので、よろしくをお願いいたします。</p> <p><b>木村会長</b> それでは、委員の皆さんから提出された個別記入用紙の意見について、事務局が各事業別と基本目標ごとに整理したものがお手元にあるかと思えますけれども、ただいま事務局からの説明にありましたように、まず個々の事業に対する意見の記載方法について、重複意見のある場合はある程度まとめて各事業のところに記</p>		

載するというところでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

**木村会長** 次に、基本目標ごとの評価について、基本目標Ⅰの評価欄、7ページをごらんください。その下に皆さんの意見をもとにある程度まとめた事務局案が提示されていますので、これをもとに検討していく方法でよろしいでしょうか。それでは、基本目標ごとに順番に見ていきたいと思えます。

進め方は、委員の皆さんが出された意見の記載漏れ等がないか、各自ご確認をお願いいたします。次に、各事業別意見について、個別事業の意見をまとめた文章をこの会議の中で作成するのは時間的に難しいと思えますので、同じような意見がある場合、ある程度まとめた文章の作成を事務局に依頼して、後日、委員の皆さんに確認いただくという形でよろしいでしょうか。

まず基本目標Ⅰ、1ページから6ページの事業番号1番から8番までについて、各委員、推進協議会の事業別意見欄にご自分の意見の記載漏れ等ないか、ご確認をお願いいたします。追加の意見や修正等がありましたら、お願いいたします。

7ページの下に基本目標Ⅰ、推進協議会評価に個別の評価が記載されています。それをもとに、その下に推進協議会評価(事務局案)として2点まとめられておりますが、この評価についてご意見等をお願いいたします。

**吉野委員** 実はこれを見ると、事業番号4と5で目標値が30人ということに対して意見が出ていますよね。これでA評価という形をしていいのかという意見が出されていて、その評価のあり方というんですか、考え方が、確かに事業はできているからAなんだけれど、それに対してこの目標というものが合っているのかというのを、評価の見方を少し変えるというような、今後みたいなものがちょっと入ったほうがいいのかないかなというふうに思えます。できているということだけではなくて、ここから次につながる部分の来年度上げるときの評価の仕方というのを少し考え直すみたいなものが入ったほうが、私たちの協議会の1つの事業別の意見というものを入れ込む形を少し入れたほうがいいのかないかなというふうに思いました。

**木村会長** 事業番号4番、5番に、目標値30人に対する評価がAで、それについての意見が載っておりますけれども、どの部分を評価するというところも含めて、来年度に向けての方向性も最後の推進協議会の評価に盛り込むべきではないかというご意見でよろしいですか。ご意見ありましたら、お願いいたします。

**協働文化推進課長** ただいまいただきましたご意見ですが、まずA評価、B評価、C評価、D評価でございます。こちらにつきましては、数値よりもこうした4段階となっておりますけれども、数値を段階別評価に当てはめて、あらわしていただいたほうがわかりやすいというご意見をこの会議においていただきまして、私どものほうでこの表現とさせていただいたものでございます。それを変わるということであれば、皆様のご意見の中でまたご検討いた

できればと思いますが、いかがでしょうか。

**吉野委員** 私は段階に対して言っているわけではなくて、Aの評価という捉え方、段階に分けるのはいいんですよ。ただ、私たちが目的とするものがAの評価なのか、Bの評価なのかというところの捉え方がちょっと違うのではないかというふうに感じているということ言っているんです。段階評価することは別に問題と言っているわけではないということです。

**協働文化推進課長** 具体的にご意見をいただけたらと思います。

**吉野委員** そこは書いてありますでしょう。特に30年度のところに対して、目標値というものに対しての評価ではなくてということが意見として述べられているということの評価、考えてほしいということです。

**木村会長** 3、4ページですが、何をもちてAとかBとかという評価をするのかの観点になるかと思いますが、目標を例えば参加人数をクリアしたらAなのか、あるいは事業の中身そのものもやっぱり吟味する必要があるのではないかと、評価をするに当たってというご意見ですが、いかがでしょうか。皆様、ご意見ありますか。

**曾我委員** 確かに吉野委員がおっしゃるように、人数だけではなくて、私はやっぱり若い世代ができるだけ参加しやすい講座であるとか、そういったものが必要ではないかと思うので、例えば、年代別で若い世代がちょっと増えるとか、そういったことも評価の1つにはなるのではないかと。わりと60代より上の方の参加が多い講座が多いように思えたので、例えば、人数だけではなくて、割合というか、そのあたりを目標に今後していくというのは1つかなと思います。

**協働文化推進課長** わかりました。まず、目標値につきましては、大変申しわけございませんが、こちらの会議でご確認いただいた数字でございますので、見直すということであれば、また次回の協議会で見直しをお願いしたいと思います。

なお、年齢階層というお話でございます。確かにご意見をいただいたものですが、なかなかこれが、年齢によって評価の仕方が、数字でいきますと加重評価という形になるかと思うんですけども、数字の作り方を検討する必要があると思いますので、こちらについては検討という要素でお願いしたいと思います。

**町民部長** 今、さまざまなご意見いただきましてありがとうございます。

事業によってポイントが違おうと思うので、おっしゃるとおり、この事業については何を目標というか目的にしているのかというのをしっかり捉えれば、数値なり、目標とするものが変わってくると思いますので、その辺の部分で個別のところ、具体的に例えばこういう数値を目標にしたらどうかとか、そういう具体的なものをいただければ、私もこれ持ち帰りまして、各担当課のほうでしっかりすり合わせをしたいなと思っています。

これをつくるに当たりまして、なかなか評価の仕方がすごく難しく、何を評価としていいのか、なかなか数字で表すというのが難しいものですから、ものによってはこういうふうなものも出てまいりますので、今いただいたご意見のとおり、こういうのを目標にしたらどうかというのを端的にいただければ、その辺、担

当課と調整することも可能ですので、ここでしっかり個別のご意見でいただいておりますので、そこはまた反省点として修正していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

**木村会長** そうしましたら、これについては30年度の実績評価になりますが、もう1回この基本目標Ⅰのところに戻りまして、30年度の実績評価について、この案が妥当かどうかというところで検討をお願いします。

**町民部長** 30年度については確認をいただいてスタートをしているので、今さら数字を変えるというのは難しいと思うので、今後に向けて、こういう目標値じゃなくて違う目標値を立てたほうがいいのかというご意見があれば、大変申しわけありませんが、令和元年度がもうスタートしていますので、2年度からその辺しっかりした形にあらわすことができるかなと思っております。

**木村会長** では、そういうことも含めまして、今回の基本目標Ⅰの事務局案について、こういう文言を追加、足してほしいことがありましたら、令和2年度になるかと思いますが、こういうところに焦点を当ててほしいであるとか、こういうところを目標にしてほしいとかありましたら、ご意見をお願いします。先ほど、何ををもって評価をするかということもありますが。

**吉野委員** この文言に対しては30年度なので、決められていることなので、ここに例えば、これを踏まえて、こういう検討事項を持ちますみたいなことは書けないということですね。

**町民部長** いえ、それは書けます。言っていたほうが良いと思います。

**吉野委員** そこは入れられるのですか、この評価の部分に。

**町民部長** この評価の数字がどうかということは書いていただいて、むしろ変えたほうが良いのではないかというご意見があれば、それはいただければ。不具合が生じているというのは、これだけ皆さんのご意見あるので間違いないですし、我々もこれが絶対とは思っていませんので、ここは直せるものは早く直していきたいというスタンスです。

**木村会長** 基本目標Ⅰがあらゆる分野での男女共同参画の推進なので、それに沿って今後参画プランが立てられるときに、こういうところにちょっと焦点を当てたらよいのではないかとこのことをここに盛り込んでよいということですね。

**町民部長** 事業別の個別の意見としていただければありがたいと思います。かなり悩んでつくった数字だと思うので、なかなかうまい目標が見つからなかったのが多分これだと思いますので、何かいいアイデアがあればぜひ。

**奥委員** 確認になってしまって申しわけありませんが、それぞれ左側に全て数値が入り込んでいる、この部分については過去にこの会で承認を得たものなので、ここの数値を変えるということは難しいですよ、ただ、そのお隣の現状と課題ですとか評価の理由というところに関しては、30年度については終わってしまった、審議は得たもので、元年度に対してはこういう視点で評価の仕方などの文章をつくっていただけると、来年度の評価の仕方に修正を加えることができますという理解でよろしいでしょうか。

**町民部長** 極端な話、令和2年度の目標には間に合うということですので、これで目標を新たなものにして、数値も新たなものにするということは可能ではありません。

**吉野委員** 可能なのですね。

**町民部長** 一旦決めたものではありませんけれども、おかしいと思ったら直していいと思います。

**協働文化推進課長** こちらの欄のところに2年度の目標値が入っていますが、そこは直せるということです。ただ、過去のものにつきましては一旦、これ目標値でご了承いただきまして、各担当課もそのつもりで事業を行っておりますので、そこについてはご容赦願いたいという意見になるかと思えます。ただ、今回、その見直しについてご意見をいただく、こういうことではなく、こういう方針で行ったらいいのではないかという部分については、ご意見をいただければ幸いに存じます。

**木村会長** 今回の目標数値は回数であるとか、参加人数がほとんどでありますけれども、今後、何を目標としていくかというところで、具体的にこういうところを目標に考えていったらいいのではないのでしょうか。そうすると、評価のポイントというのがはっきりしてくると思います。ものによっては回数であるとか参加人数であると思いますが、参加人数といってもかなり大まかなものになってしまうので、こういうところに絞るとか、先ほどありましたが、この年代層の参加率を上げるとか、そういう具体的な何かが今後必要になってくると思いますが、その辺で何かご意見ありましたらお願いします。

**町民部長** 多分この場でというのは非常に難しいと思いますので、また事業によってさまざま目標の捉え方が違いますし、多分、皆さんがご意見をお持ちになっているところは決めようがなくて、参加人数というところで落ちついたという流れなのかなと思います。

この後、来年の3月にもう一度会議がありますが、そのときには令和2年の事業のある程度コンプリートされたものをご提示する形になるので、ある程度ここでご意見をいただかないと、その意見反映ができません。

ただ、まだ3月の話なので、それまでの間に各事業ごとにお気づきの点、またはこういう目標設定をしたほうがいいのかというのがありましたら、これから全庁的につくっていく中で、その辺、意見反映をさせていただきたいと思いますので、ここでそれをやると全部の事業の見直しになりかねませんので、ご意見があったら事務局のほうで責任を持ってそこは担当課と反映させていただきますので、そういう形でいかがでしょうか。

**木村会長** 前回の会議の後に事業別の意見というのを書面で提出したと思いますが、それと同様な形で、今回令和2年度に向けて皆さんからまたご意見をいただくという、で、それを反映してくださる。

**町民部長** その会議が3月でもうコンプリートされた形で出ますので、その前に個別にご意見をいただければ、内部調整の中で反映できるかなと思っていますので。

**木村会長** 今日以降、3月というか、もう少し前までということですか。

**町民部長** お気づきになった時点でご連絡をいただければ、反映するよう

にいたしますので。

**小山委員** 今、そのようなことを言われたのですけれど、それでしたら、こちらの事業別意見として夏場に忙しい中で皆さん意見を出されたかと思いますが、ここに書かれたことはこの場で何も議論というか、話し合いというか、取り上げることもなく、自分の意見が書かれていて、これで終わりですかという形になってしまわないでしょうか。

先ほどから吉野さんがおっしゃられていたように、例えば、人数が目標設定の最大の鍵となっているとか、それでも「カジダン・イクメンのすすめ」ということなんだから、20代とか30代の方々にぜひ聞いてもらいたいと思って、講演会を打っている。ところが、参加人数をあけてみると、参加されているのはもうちょっと年代の後の方々に、それにもかかわらずAの評価でいいのかということが多分おっしゃられたと思うんです。

そういうところをこの場では集約できないから、次回までにご意見くださいという形にしてしまったら、この場にこういうものを載せられた意味がなくなってしまうのではないかなと思うので、せっかくここに皆さん集まって意見を出される場でもあるので、例えばここに書かれている意見について、妥当だと思われる方とか、そういった方の意見だったりとかも、賛成で皆さん思われているのかとか、そういうことを語るべきじゃないかなと思うんです。

**町民部長** 事業ごとにいただいた個別意見もそうですが、皆様からいただいた意見は全てこの後、内部の会議に諮ってフィードバックいたしますので、この意見は反映できる、できない含めて、その辺を含めてまたこの場でお返りするような形になります。

今、私が申し上げているのは、目標設定を具体的に、目標をこういう目標にして、何人にしましょうというのはちょっと難しいんじゃないかなと思ったので、その細かい部分だけお気づきの点があればということで、全体通して目標設定がおかしいよというのが幾つかあるというのは皆様のご意見の中でたくさん出ていましたので、そうは言いながらも、では、具体的にどうするんだというのは、我々も担当課と話をしている、なかなか設定しづらいところもあるので、具体的に何かアイデアをいただけたらありがたいなというところでございます。

**木村会長** 何かその辺、具体的に、こういう視点を持ったらいいのではないかなというのがありましたら、お願いいたします。

**町田委員** まだこの会議2回目ですけれども、こちらの資料も読ませていただいて、ものすごく単純なんですけれども、このものをやったこと、そのことが大事にされているのか、じゃ、この後がどうなったのかというのが大事にされているのか、どっちなのかなと、ちょっと見えないところがあるんですね。

皆様の先ほどの意見を聞いていても、ターゲットが絞られていない。それはそうですよね。これをやったということがポイントになってくるのならば、男女共同参画としてこういうものを開催しました、こういうことをやりました、だから事業評価はこうでしたってなるのはしようがないと思う。

ただ、中身にもっと私たち焦点を向けていただきたいかなと思うんですね。となると、中身となると、もともとどこにターゲットを絞ってくるのか、じゃ、どういった目的でこれを主催したいのかというのがもっと明確になってくるのかなと思うんですね。なので、こちらどうなのかなと私疑問だったんですけども。

**木村会長** 事業をやることが目的ではなくて、それによってよいほうに進んでいく、そっちを目的にするとしたら、この事業の目的は何か、目標とするところが明らかになってくるので、人数や回数ではなくなってくることもあるのではないかな。あるいは、この年代層に引っ張ってこなければ、やってもその価値はどうだろうというところでしょうか。

**町民部長** 当然、課題解決のために事業を実施しているので、やるということも非常に大事だと思います。やらないと、結果につながっていきませんので。ただ、やりっぱなしでいいのかというご意見だと思うので、その辺の部分を、我々も含めて、進行管理させてもらっていますが、担当課との話し合いも持ちますし、今日いただいたご意見、今回だけじゃなくて、毎回いただいたご意見は必ず担当課のほうに戻していますので、確認をするような動きもしています。

それと、なかなかはかりにくいんですけども、そういった意味でアンケート調査などを定期的にやらせてもらったりしておりますので、やりっぱなしではいけないというのはもちろんわかりますが、当然、修正を加えながらプランをつくって、実施して、みんなで話し合っ、改善点があれば直して、また新たにプランをつくり直していくみたいな形で、事業をどんどん回して、去年よりは今年のほうがいい事業にしていく、目的に合った事業にしていく、そういう流れで進めているのが現状です。

**町田委員** それが見えたらいいなとは思いますが。どうしてもこの資料からだけだと、はかれない。私たちは特にはかれないんですよ。となると、今おっしゃったとおり、当然やりっぱなしだと私は思っています。ただ、その後、やった後、それがどういうふうになって、どう改善されたのかがもうちょっと見えていたら違うのかなという気がするんですけども。こちらの評価になってくるんだと思います。

**町民部長** 現状と課題とか、その辺のところ書き込ませていただいたり、それと年度ごとに目標数値を設けるというのは、そういう意味で、せめて目標はクリアしなさいよという部分もあるので、やりっぱなしというよりも年々改善していいものにしていくという方向性はどの事業も一緒だというふうに思っています。

**木村会長** ほかにいかがでしょうか。

**奥 委員** この目標設定が妥当なんでしょうかということを実は書かせてもらいました。あくまでも参加人数が目標値となっていて、現状と課題、評価の理由も担当課の方が書かれているかと思うんですけども、そうすると、その目標数値に対するものですか、あと、アンケートの結果に対する評価について、高評価であったというような結論が出されていますが、皆さんがおっしゃっているように、この講演のテーマであれば、この年代が来ていないとお

かしいのではないかという視点を事務局が持っていないということがもったいないのかなというところを皆さんが思っておられるのではないのでしょうか。

令和2年度に対してご意見をということですが、令和2年度もどのような講演会を設定されるのか、多分、年度によってがらりと変わると思うので、ぜひ、担当課の方には、目標数値やアンケートの意見だけでこの文章を評価の理由などを書かれるのではなく、担当課として、このテーマを設定したときに、この層が来ていないということに対する認識を自分たちも持っていますよというようなことを落とし込んでいただければ、きっと皆さんからこのようなご意見は出ないのではないかなと思いますので、ぜひそのような視点でこの現状と課題や評価の理由をつくるように今後していただけるといいのではないかなと、今、お話を聞いていて思いました。

**木村会長** 何点かご意見いただきましたけれども、そういうところを今後取り入れていただきたいと思いますが、今回、基本目標Ⅰについて、これでよろしいですか。

次に基本目標Ⅱ、8ページから11ページ、事業番号9番から18番です。基本目標Ⅱは男女の人権の尊重と異性に対する暴力の根絶というところで、まず、事業別意見について、修正、追加がありますでしょうか。では、事業別意見のところ、評価をどうするかを幾つか触れられていますので、同じようにその辺は今後課題としていただきたいと思います。

では、11ページに基本目標についての個別評価をまとめた事務局案がありますけれども、ご確認いただいて、つけ加え等ありましたら、ご意見お願いいたします。

**町田委員** 事務局案の中に、一番上の文章の文言に「意識啓発と被害者への適切な支援が重要となるため」ということで記載されていますが、もちろん被害者というのはそうですけれども、暴力の根絶は被害者だけではなくて、加害者もそうですし、あとはその周辺の方たちも大切になってくると思います。被害者の方だけを支援するということではとても暴力の根絶には結びつきません。実際に加害者の方は加害者になっていることすら気づいていません。また、それを見ている周りの目、その方がどう伝えて、その方をどう守っていくのかということも、これも考えられなければ、暴力の根絶というのは絶対になし得ないことではないかと思えます。クローズアップされてしまうのはどうしても被害者ということになってしまいますが、実際の暴力の根絶というのはそれだけではないことだと思うので、こちらの表現についてももう一度お考えいただけたらと思います。

**木村会長** その点、事務局いかがでしょうか。

**山本主査** 皆様からいただいたご意見の中でクローズアップされていた部分がありましたので、それを反映させていただきながら、評価(案)を作成しましたが、確かに加害者にとってもということがありますので、もう少し表現を変えて、全体をということに変えさせていただき、もう一度案を示させていただきます。

**町民部長** 表現難しいそうですが、例えば被害者、加害者、関係者と全部



並べてもいいですか。「〇〇への適切な支援」のような表現で。

**町田委員** これだと被害者ということだけになってしまうので、どうだろうかと思っていました。実際これだけではないのですよね。実際に起こっている現場では、この1人だけではないのですよね。それについて少しでも伝えられる文言があればというのが私の希望です。

**町民部長** 被害者だけではないというところですね。

**町田委員** はい。

**山本主査** 並べるような形になってしまうかもしれないですけども。

**町田委員** 私も何かまた思いついたらと思います。

**橋本副会長** 個別意見に書くのを忘れましたが、いつも広報紙に掲載していきたいという話が出ますが、広報紙は、自治会に加入していないと、届きませんよね。

**町民部長** 現在、全戸配布になっています。

**橋本副会長** 町内会に加入している人や新しい方もすごく少なくて、広報紙で皆さん読んでいるのかなとちょっと思ったので。広報紙っていつも載っていて、それでどうなのかなとちょっと気になったものですから、町内会に加入している人が大分少なくなりましたので。ちょっと勘違いしました。

**町民部長** 確かにおっしゃるとおり、この文面だと広報紙だけしか見えませんよね。メール配信とかもやっていて、意外と若い方が見ていただける可能性もあるので、そういうのを含めて、広報紙等と丸めてもいいですか。その中で、あらゆる情報媒体で情報提供したほうがいいという趣旨ですよ。

**橋本副会長** そうです。

**町民部長** 皆様それでよければ、そんな形をとらせてもらおうかなと思っています。これを見ると、広報紙だけにしか見えなと思いますので。

**橋本副会長** 広報紙が全面に出ていますので。

**町民部長** 情報のとり方って個人個人によってさまざまですので、色々な手段で情報を提供したほうがいいかなと思いますので、よろしければ、そんな形でまとめさせていただけたらというふうに思います。よろしくをお願いします。

**木村会長** お願いいたします。

**吉野委員** そうすると、12番に書いてあるみたいに、2とかなっていますが、実績も2ですよ。それで、実績がなかったからCになっているという、ここの評価が多分変わってくると思うんですよ。等でいろんなものに対して、要するにそれは伝わっているかどうかというところをどう評価できるかみたいな部分があると、その辺の評価の仕方とかも変わってくると思いますし、実はその上の11番に対して、基本目標のところ2番目に書かれているように、事業番号11、12で実際の相談はなかったといいますが、実質上はそうではないということを踏まえた啓発とか情報提供活動を行っているというふうに事務局側が捉えているのに、この部分では、目標値を達成しているためというだけになっているのが、評価欄にですね、そういう部分では、確かにそうだけでも、ほんとうに細かな部分はやっぱり受けていたみたいなもの

がないと、この裏づけにないと、ただ何もなかったですよ、逆にそんなことあり得ないような気がするんですね、今の世の中で。ただ、そういう書き方を、先ほどの一番最初の部分と同じですけど、事務のサイドの人たちがわかってもらえるような書き方をされるといいのかなというふうに思いました。

**木村会長** ほかにはいかがでしょうか。よろしいですか。

では、今いただいたご意見をもとに、評価のほうを加除訂正していただくということで、よろしく願いいたします。以上で基本目標Ⅱについては終わりにいたします。

次、基本目標Ⅲ、仕事と生活の調和推進のための環境づくり、ページでいうと12ページから17ページ、事業番号が19番から33番についてです。同じく、事業別意見をご確認ください。記入漏れ、追加、訂正ありましたら、お願いいたします。ここでもほかと同様、評価の観点をどこにするかというところは出てくると思いますが、それを除いたところで追加、訂正がありましたら、お願いします。

**落合委員** 先ほどから評価のことについては、いろいろと皆さんのご意見をお伺いしているところですが、14ページの、入所定員が増えたことによって、実績が100%にならなくてB評価というところが24番の事業であります。この辺の定員が増えたことによって実績が落ちているわけではなくて、もともとの受け入れの数が増えているというところをもうちょっと上手に評価していただいたら、ちょっとここが数字だけで見ちゃうと、あたかも下がっているように見えてしまうというところがちょっと残念だなと思いました。

**木村会長** 入りたい子は入れているという現状がある。

**落合委員** しかも、定員以上に受け入れている園がありつつ、新しく一園をつくったために入所率というのが下がっている。新しいところに全員が入っていないから、入所率が下がっている。けれども、全員の定数でいったら昨年度よりも増えているということであれば、数字が下がっているのはちょっとおかしいではないかなと数字的に見た感じがそういう感想を思いました。

**木村会長** 24番の事業別意見の一番上に、満足度についても調査とありますので、入れたか、入れないかじゃなくて、入りたいところに入れたかとか、そういう満足度というのも今後評価していかなければいけません。

そのほかはいかがでしょう。追加や訂正あるいはご意見ありましたら。では、17ページに評価について個別評価、それをもとにした事務局案が載っておりますけれども、ご確認いただいて、ご意見ありましたら、お願いいたします。

**奥 委員** すいません、感想みたいなことで大変恐縮なんですけれども、この事務局案を見たときに、「仕事と生活との調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現は関係機関との連携、企業の環境づくりが必要であるため」とありますが、多分それは上の部分で、各委員から出された意見で、例えば、相談業務では各機関との連携が必要ですか、子育て支援事業も保育所、学童クラブの整備が必須とか、いろいろ書かれていることを多分集約して下さったと

と思いますが、何となく関係機関との連携の前に、ちょっと言葉が不足しているような気がしてしまいまして、ワーク・ライフ・バランスが関係機関との連携というふうにするなり私は落ちなかつたんですね。

多分、このワーク・ライフ・バランスの項目にいろいろな相談業務が入っていたりとか、子育て支援が入っていたりしたからなのかなと思うんですけど、であれば、むしろその言葉を具体的に入れてしまってもいいのかなというふうに思いました。

具体的に案として適切かどうかわからないんですけども、この項目に書かれている事業を幾つか挙げてもいいのではないかなと思うんですけども、相談事業の充実や子育て支援等、関係機関との連携のような形で入ると、もうちょっとすんなりと落ちるのかなという気がしました。

**木村会長** 事務局、よろしいでしょうか。ほかにご意見等ありましたら、お願いいたします。

では、基本目標Ⅲの評価については、今のご意見を盛り込んだものを再度つくっていただくようお願いいたします。

では、最後、基本目標Ⅳに移ります。男女共同参画社会促進のための意識づくり、ページでいうと18ページから最終ページ21ページになります。

まず、事業別意見について、記載漏れ、追加、修正がありましたら、お願いいたします。

では、21ページにあります評価のほうに移ります。個別個人の評価をもとにした事務局案が2点示されておりますけれども、これについてご意見ありましたら、お願いいたします。特にご意見はありませんでしょうか。よろしいですか。では、事務局案を基本目標Ⅳとしたいと思います。

それでは、これで基本目標ⅠからⅣの評価のまとめについての審議を終わりにいたします。今後、公表まで手続的にどのようなになりますか。お願いいたします。

**山本主査** 本日いただいたご意見を、事務局で取りまとめ、公表案を作成させていただきます。作成させていただいた案を皆様のほうに送付して、確認していただき、公表したいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

**木村会長** 事務局から説明がございましたが、皆さんよろしいでしょうか。最終的な確認段階で細かい文章表現などについては私のほうに一任していただけたらと思っておりますが、よろしいですか。

それでは、ご確認いただきましたので、事務局は平成30年度事業実績評価報告書（案）のほうの作成をお願いいたします。

議題についてはこれで終了いたします。引き続き、次第5番、その他に移りますが、皆様から何かございますか。

**武藤委員** 平成28、29、30、令和元年度、2年度とありますが、3年度というのは延長線で作るのですか。それとも28年度を落として、3年度を追加しますか。それとも、令和3、4、5、6、7というのを新たに作る予定ですか。

**山本主査** まだ正式には決まっていますが、おそらくここで期間が切れますので、通常ですと見直しという形で作成します。

**武藤委員** 見直しというのはモデルチェンジに近いのですか？それとも、少し変えて、同じ方向で行くということですか？先ほどいろいろ意見が出ましたよね、目標値のあり方云々って。私はこれ思っただけで、過去5年間やって、3年目を今まとめようとしているので、あと時期的にもタイミングがあるので、大きく目標値を変えてしまうと、継続性というのは少なくとも途切れるなというふうに半分思っていたんですけど、だけど、変えなくてはいけないところは変えなくてはいけないので、変えたほうがいいと思います。これは全部が全部いい目標って、当時決めた人には申しわけないんですけど、そうしたときに、令和3年度以降をこの延長線でやっても多分目標というのは、変えていくんだろけど、それとも、新しく5カ年分をつくるというんだったら、私は大きく変えて構わないと思っていますけど。

**町民部長** 令和3年度以降は大きく変えます。

**武藤委員** そういうことですね。一応これはこの5年間で終わると思っ  
てよろしいですね。

**町民部長** 事業数もこんなに多いのは近隣でもあまり無いので。もう少し  
ポイントを絞って、しっかり事業を深掘りしたほうがいいのか  
という考えを事務局では持っています。

**武藤委員** これをやったから、ああ、これやったことでこうなっているよ  
ねとみんなが思い浮かべられるような形になるのがベストです  
けどね。私も言うのは簡単で、なかなかそういうのは難しいと思  
っています。だから、令和3年度というのは多分、皆さんの意見を  
いただいたのを反映できるのかな。令和2年も結構厳しいよね、  
日程的に。

**町民部長** はい。令和2年はマイナーチェンジぐらいがいいところです。

**武藤委員** 取り入れられるところは取り入れてもらって全然問題ありませ  
んが、令和3年度以降の5カ年計画、そこでちょっと先過ぎるよ  
っておっしゃられるかもわかりませんが。

**町民部長** 総合計画の関係で、何年になるかわかりませんが、いずれにし  
ても重要な課題だと思っていますので、第5次になるかどうかと思  
うので、第5次のプランについてはしっかり見直しをかけて、大幅  
な大胆な見直しが必要かなとは思っています。事業が多過ぎて見  
にくいですよ。皆さんもそうですよね、正直申し上げて。もう  
ちょっと事業をピンポイントで絞って、しっかりその事業を確認  
できたほうがいいのかなどは思っております。

**武藤委員** いえいえ、わかります。そういうやり方をするんですね。令和  
3年以降には少なくともいろいろ皆さんから意見を聞いて、反映  
できるタイミングがまだ残っているよということですね。令和元  
年、2年は難しいけど。

**町民部長** 令和2年中にお聞きして、3年に策定します。

**武藤委員** 早めにご意見をいただくほうが、いいですね。

**木村会長** ありがとうございます。では、事務局から何かありましたら、  
お願いいたします。

**山本主査** 本日、いただいた意見をまとめ、郵送またはメールでお送りし  
ますので、確認をお願いいたします。次回の会議は3月ごろ開催  
予定をしております。内容は、令和2年度の事業計画についてご

	<p>審議いただく予定です。</p> <p>藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町で組織しております湘南都市行政協議会主催事業で、2市1町の広域連携事業として毎年開催しております男女共同参画の特別講演会についてお知らせします。「誰もがチャレンジできる社会を目指して」というテーマで、スポーツキャスター、女子バレーボール元全日本代表の益子直美さんを講師にお迎えし、10月26日午後1時30分から藤沢市役所5階の会議室で開催いたします。参加のご希望ございましたら、事務局までご連絡ください。</p> <p>また、この会議の公募委員を10月から募集をしておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p><b>木村会長</b> これで本日の日程を終了いたします。進行を事務局にお戻しいたします。</p> <p><b>協働文化推進課長</b> 会長、議事進行ありがとうございました。</p> <p>それでは、本日は大変長時間のご議論、お疲れさまでございました。貴重なご意見を頂戴いたしました。中でも進行管理、もっとしっかりしなさいというお叱りも含めてのご意見だと捉えさせていただいております。</p> <p>この意見を取りまとめまして、また事務局のほうから後日ご提示させていただきますので、その節はよろしくお願いいたします。それでは、最後に閉会の言葉、橋本副会長よりお願いしたいと思います。</p> <p><b>橋本副会長</b> 皆さん、本日はお疲れさまでございました。今日は周りを見ますと、田んぼが稲穂が黄色く実ってきて、ああ、もうじき刈って収穫の時期になるんだなと思っていたんですけど、寒川町はすごく今いい条件なんですけど、前回の台風で千葉とかほかのところはとても被害を受けられて、私なんかはそのニュースを見て気の毒だなとかしか思えないんですけども、もし身近に何か手助けできることがあったら、また私も一員としてやっていきたいななんて思っています。</p>
	<p>○資料1 第4次さむかわ男女共同参画プラン平成30年度事業実績報告書（案）</p>
<p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p>	<p>橋本委員          吉野委員</p> <p style="text-align: right;">（令和元年11月22日確定）</p>